

賛美 521 「とらえたまえ、われらを」

Take Thou our minds, dear Lord
 詞：William H. Foulkes, 1877-1961 HALL
 曲：Calvin W. Laufer, 1874-1938

とらえたまえ、われらを。
 主よみこころしめして、
 ひびまことをおしえて、
 はなちたまえ、つみより。

- | | |
|--|---|
| 1 とらえたまえ、われらを。
主 ^{しよ} よみこころしめして、
日々 ^{ひび} 真理 ^{まこと} をおしえて、
はなちたまえ、罪 ^{つみ} より。 | 3 とらえたまえ、われらを。
み手 ^て のうちに ^{うち} 守 ^{まも} りて、
全 ^{また} き道 ^{みち} に ^{みち} びき、
行 ^ゆ かせたまえ、わが主 ^{しよ} よ。 |
| 2 とらえたまえ、われらを。
宿 ^{やど} りたまえ、われらに。
とわの愛 ^{あい} を注 ^{そそ} ぎて
地 ^ち を ^{くに} み国 ^{くに} としたまえ。 | 4 とらえたまえ、われらを。
満 ^み たしたまえ、聖 ^{せい} 霊 ^{れい} を。
わがすべてを ^{しよ} ささげて
主 ^{しよ} のみ旨 ^{むね} に ^{したが} 従 ^{したが} わん。 |

説教 「神の生きざまが現される」

賛美 509 「光の子になるため」

I want to walk as a child of the light
 詞：Kathleen Thomerson, 1934- HOUSTON
 曲：Kathleen Thomerson, 1934-

1 ひかりの子になるため ついてゆきます。
 2 主のかがやきみるため すすみゆきます、
 3 主のふたたびくる日を まちのぞみます。
 この世を-てらすため こられた主イエスに。
 >しめされ-たこみちを みかみのみもとに。
 しんこうを-まもりぬき、みまえに たつ日を。
 (くりかえし)
 主のうちにやみはなく よるもひるもかがやく。
 ころのなかをわが主よ、 てらしてくださいます。

- | | |
|---|---|
| 1 光 ^{ひかり} の子になるため 従 ^{したが} って行 ^い きます。
この世を照 ^{しめ} らすため 来 ^こ られた主 ^{しよ} イエスに。
主 ^{しよ} のうちに闇 ^{やみ} はなく 夜 ^{よる} も昼 ^{ひる} も輝 ^{かがや} く。
心 ^{こころ} の中 ^{なか} をわが主 ^{しよ} よ、照 ^{しめ} らしてくださいます。 | 2 主 ^{しよ} の輝 ^{かがや} き見るため 進 ^{すす} み行 ^い きます、
示 ^{しめ} された小 ^こ 路 ^{みち} を み神 ^{かみ} のみもとに。
主 ^{しよ} のうちに闇 ^{やみ} はなく 夜 ^{よる} も昼 ^{ひる} も輝 ^{かがや} く。
心 ^{こころ} の中 ^{なか} をわが主 ^{しよ} よ、照 ^{しめ} らしてくださいます。 |
| 3 主 ^{しよ} の再 ^{また} び来る日 ^ひ を 待 ^{まち} ち望 ^{のぞ} みます。
信 ^{しんこう} 仰 ^{まも} りぬき、み前 ^{まへ} に立 ^た つ日 ^ひ を。
主 ^{しよ} のうちに闇 ^{やみ} はなく 夜 ^{よる} も昼 ^{ひる} も輝 ^{かがや} く。
心 ^{こころ} の中 ^{なか} をわが主 ^{しよ} よ、照 ^{しめ} らしてくださいます。 | |

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「神の光よ、我らの心を照らしたまえ」 (H.ウィラン)

司式：要田 悟史
 説教：向井 希夫牧師
 奏楽：大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。